

(平成21年10月25日実施)

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

平成21年度（第1回）会計実務検定試験 財務諸表分析

審査基準

【1】

1	2	3	4	5
コ	ク	キ	セ	サ
6	7	8	9	10
チ	イ	ツ	ソ	イ
11	12			
オ	ウ			

各1点×12=12点

【2】

問1

A	総資産負債比率
B	固定長期適合率
C	流動比率
D	当座比率

各2点×4=8点

問2

①	a	②	b
---	---	---	---

各1点×2=2点

問3

1	ウ	2	カ	3	サ
---	---	---	---	---	---

各1点×3=3点

【3】

問1

	分析指標名	M社	N社
①	総資産当期純利益率(ROA)	6.70 %	2.24 %
②	使用資産経常利益率	9.98 %	3.89 %
③	総資産回転率(総収益対総資産)	1.13 回	1.11 回
④	売上高売上原価率	67.79 %	64.02 %
⑤	売上高販売費及び一般管理費率	24.54 %	33.02 %
⑥	株主資本当期純利益率(ROE)	8.91 %	3.46 %

各3点×12=36点

問 2

総合的に判断すると、(M) 社は、(N) 社より収益性において優れている。

3点×1 = 3点

理由
<p>① 総資産についての視点</p> <p>M社の方が総資産当期純利益率および総資産回転率（総収益対総資産）も良いので、M社の方が優れている。</p>
<p>② 経営活動についての視点</p> <p>使用資産経常利益率はM社の方が良い。一方、売上高売上原価率は、N社の方が良い。しかしながら、M社はN社に比べて売上高販売費及び一般管理費率がかなり低い。したがって、売上高売上原価率が高いことが全体としての経営活動の判断に影響を及ぼしていない。</p>
<p>③ 株主資本についての視点</p> <p>株主資本当期純利益率についてもM社の方が良いので、株主の立場から見ても良い企業である。</p>

各4点×3 = 12点

【4】

問 1

1	2	3	4
イ	コ	ア	キ
5	6		
オ	カ		

各1点×6 = 6点

問 2

A	12.1 倍	B	1.1 倍
---	--------	---	-------

各3点×2 = 6点

【5】

1	2	3	4
ケ	ア	サ	オ
5	6		
コ	イ		

各2点×6 = 12点